

平成30年度地域密着型特別養護老人ホームこまくさ苑事業計画

1. 理念

「豊かな知識、確かな技術、あたたかい心をもって、入所者一人ひとりの暮らしを支えます。」

2. 基本方針

- 一、法人理念に基づいた「利用者本位のサービス提供」を公平、公正に推進します。
- 二、経営の安定を図るため、全職員が経営意識を持ち、収入確保と経費節減に努めます。
- 三、事故、感染症等の予防・防止を徹底し、質の高いケアを提供します。
- 四、内部、外部研修等をとおして知識、技術を習得できるよう育成の機会を提供します。

3. 重点目標

一、「利用者本位のサービスの推進」

- ①利用者一人ひとりの個性や生活習慣を大切に、小集団の中で人間関係を築きながら、自宅に近い環境の中で、日常生活を営むことができるよう必要なサービスを提供します。
- ②入所者の人格を尊重し、常に利用者の立場に立ったサービスの提供に努めるとともに、利用者及び家族のニーズに沿った施設サービス計画を作成し、入所者が必要とする適切なサービスを提供します。
- ③利用者の方がご自分で出来ることは、ご自分のペースで行って頂き、健康な状態を維持し、日常生活の中で自立して生活できるよう必要なサービスを提供します。

二、「経営の安定」

- ①稼働率98%の達成を目指します。
- ②常に節約を意識しコスト削減をしていきます。

三、「事故、感染症等の予防・防止の徹底」

- ①利用者、家族に信頼され、安心して生活できるよう質の高いサービス提供を行い事故防止を徹底します。
- ②感染症等の予防に対しては、感染症の知識を習得し各部署が利用者の情報・状況を共有することで拡大の防止に努めるとともに、職員自身の健康管理に努めます。

四、「職員の質の向上」

- ①OJT、勉強会、施設内研修、外部への研修会参加等をとおして、専門職としての資質の向上を図ります。

4. 各職種の計画、目標

(1) 介護職員

- ①「基礎介護の勉強会を行い、根拠を持った関わりが出来るようになります。」
- ②「サービス担当者会議を定期的に行い、利用者の方一人一人の変化を速やかにプランに反映させ実践して行く」
- ③「各職員が伝達能力を図るため基礎介護50をもとに勉強会を行います。」

(2) 看護職員

- ①利用者の方の健康管理・内服薬の管理を行い、安心・安全な日々が送れるよう努めます。
- ②他職種と連携を密にし、情報交換を行います。
- ③利用者の方の状態の変化に気づき報告を受けた時、速やかに上司に報告し対応します。

(3) 栄養士

- ①衛生管理、感染症対策予防の徹底を図ります。
- ②利用者の嗜好の把握に努め、美味しい食事の提供に努めます。

(4) 生活相談員

- ①利用者の方の対応として、傾聴、共感、受容の心をもって関わります。
- ②利用者の方の生活状況等の情報提供を通して、家族との連携を密にしていきます。
- ③各医療機関、介護保険者、居宅介護支援事業所等との連絡調整を適宜行います。
- ④施設サービス計画作成のための情報共有に努めます。
- ⑤他職種共同が必要であることを理解し、実践します。

(5) 事務員

- ①的確な会計処理をとおして経営状況の把握に努めます。
- ②物品購入等に当たり、コスト削減を念頭に対応します。
- ③連絡事項の徹底を図ります。
- ④ホームページ等をとおして、事業内容の周知を図ります。
- ⑤職員の福利厚生面のサポートを図ります。

排泄係

目標「利用者の方一人一人に合った快適な排泄を目指す」

- ①排泄用品の使用状況を把握して行く。
- ②コスト削減を意識し取り組みます。
- ③必要に応じて勉強会を行います。
- ④尿測を行い利用者一人一人に合ったパットを提供します。

環境係

目標「家庭的な環境づくりを意識し、利用者の方居心地よく生活して頂けるよう環境を作ります」

行動計画

- 4月～6月 畑耕し、花の種まき、球根植え、野菜の種まき
- 7月～8月 観葉植物の土替え、畑の草むしり、畑の水まき
- 9月～10月 畑の花の鉢あげ、球根堀り、野菜の収穫
- 11月～12月 大掃除の予定表作り、大掃除の実行

12月～3月 設えの衣替え（その時期の行事に合わせる）

毎月 植物の管理、ゴミ庫の掃除またゴミの分別の確認

隔月 浴室のカビ取り（偶数月）

その他 通年置ける植物の購入・育成。観葉植物を利用して家庭的な雰囲気作りをします。

大人の生活の場を意識し、季節を感じられる環境整備をします。

各掃除マニュアルを作成し、職員に周知して行きます。

ゴミの分別や各掃除が出来ていない時は会議でその都度呼びかけをして行きます。

行事係

目標「利用者の方が主体となり楽しむことが出来る行事を目指します」

「家族、地域との交流を深める場の提供を目指します」

行事計画

行事予定として、8月＝仮装盆踊り、11月＝年忘れ会

リネン庫係

目標「物品の使用状況を把握しコスト削減を目指します」

① 月1回、物品の使用状況を確認し把握します。

② 物品庫・リネン庫の整理整頓を徹底します。

5. 地域交流

一、上士幌町、上士幌町社会福祉協議会、地域包括支援センター、ボランティア団体、地域住民、等々への積極的な関わりのもと在宅福祉の一助として施設機能の開放を目指します。

二、各関係機関、団体等の行事、催しに積極的に参加し、また、施設主催の行事においても地域住民の参加を呼びかける等、地域交流を密にする。

三、地域交流スペース「こでまり」を活用し、地域住民の方々と交流を図り、顔見知りの関係を築き施設が持つ機能を知っていただく場にして行く。

6. 防災・安全管理

一、利用者が安全かつ快適な生活が出来るよう、近隣住民の方々の協力のもと、様々な角度から火災を想定し通報避難、消火訓練などを実施し非常時に敏速に対処できる避難体制、安全環境の確立を目指します。

①避難訓練＝年2回実施。（内、1回は地区合同による夜間想定訓練）

②消火訓練＝年2回実施。（1回目は放水訓練、2回目は消火訓練）

二、非常通報システム、避難誘導、消火器材類の操作等について周知徹底します。

三、地震等による転倒や落下物にも注意し、防止策を講じると共に点検を行います。

四、専門業者による、機械室・ボイラー・電気設備・消防設備等の保守点検の他に、職員による定期、随時点検を行う。

7. 職員の資質向上

一、法人及び各関係機関の実施する研修会への参加や勉強会を実施します。

研修への参加

	内 容	主 催 者	参 加 者
4 月	看取りについて	法人主催研修	法人全職員
5 月	認知症について		法人全職員
6 月	リスクマネジメント・法令順守		法人全職員
8 月	身体拘束・虐待		法人全職員
9 月 18 日	法人内実践発表		法人全職員
10 月	感染症対策		法人全職員
11 月	ハラスメント		法人全職員
2 月	救急救命講習		法人全職員
毎月	事業所内勉強会	職員	こまくさ職員
	基礎介護 50 より		

8. 運営推進会議

①事業所が地域に密着し、地域に開かれたものにするために、運営推進会議において、サービスの提供状況について定期的に報告し、その内容について評価、要望、助言を受け、事業所の運営等に反映します。

②年 6 回、運営推進会議を行なう。

実施予定として

実施月	内 容	担 当
5 月	平成 29 年度各事業所事業報告	千葉主任生活相談員
6 月	行方不明捜索模擬訓練	萱森管理者
8 月	夏祭り	馬場管理者
10 月	実践発表	千葉主任生活相談員
11 月	年忘れ会	萱森管理者
3 月	各事業所平成 31 年度事業概要	馬場管理者